

(3) 関係施設（担当者）調査（調査票D）

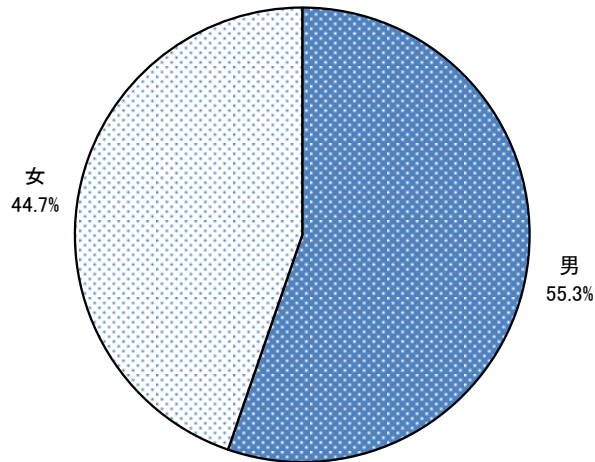
(3)－1 ご本人について

問1 ご本人(若年性認知症または若年発症の認知症の方)について、お答えください。

① 性別と生年月日を教えてください。

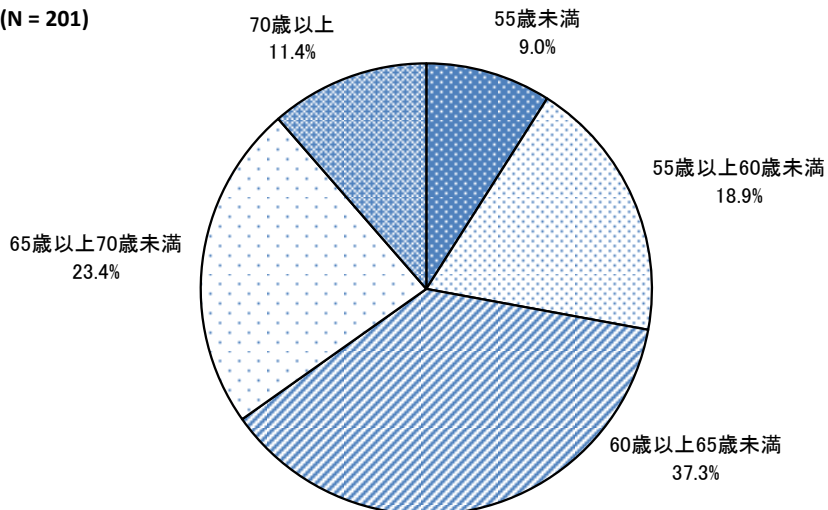
性別は「男」が 55.3%、「女」が 44.7%であった。

(N = 199)



現在の年齢は「60歳以上65歳未満」が 37.3%と最も高く、次いで「65歳以上70歳未満」が 23.4%、「55歳以上60歳未満」が 18.9%となっている。

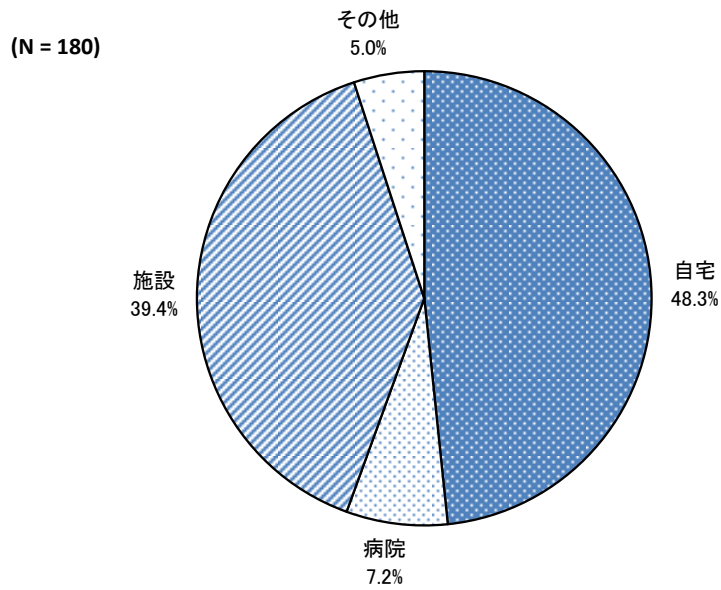
(N = 201)



問1 ご本人(若年性認知症または若年発症の認知症の方)について、お答えください。

② 現在の住まいを教えてください。(該当するものに○をつけてください。)

「自宅」が48.3%と最も高く、次いで「施設」が39.4%、「病院」が7.2%となっている。



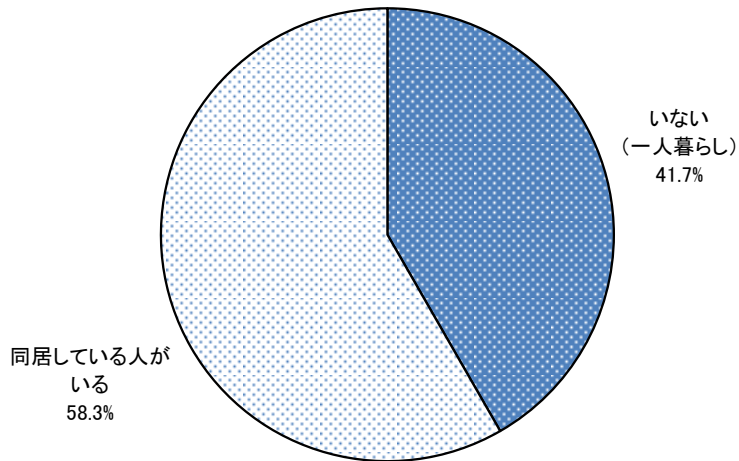
問1 ご本人(若年性認知症または若年発症の認知症の方)について、お答えください。

③ 同居している方はいますか。

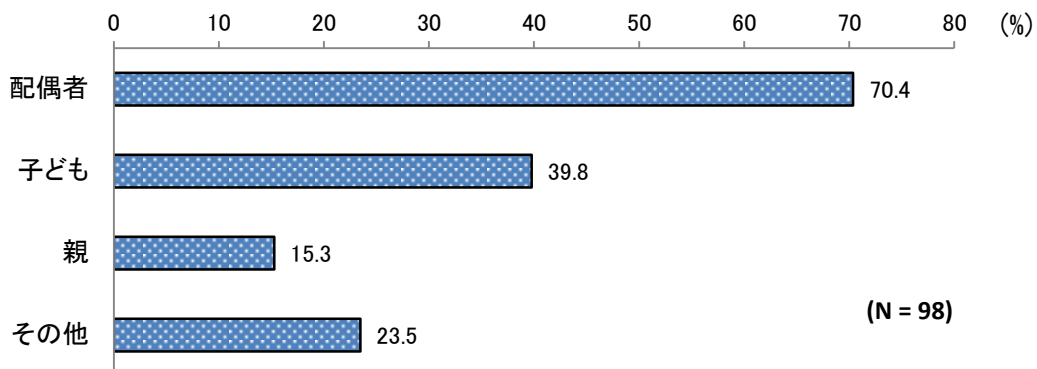
「2.同居している人がいる」場合には、同居者すべての番号に○を付け、人数を記入してください。

「いない(一人暮らし)」は 41.7%、「同居している人がいる」は 58.3%であった。

(N = 168)



同居している人は「配偶者」が 70.4%と最も高く、次いで「子ども」が 39.8%、「その他」が 23.5%となっている。

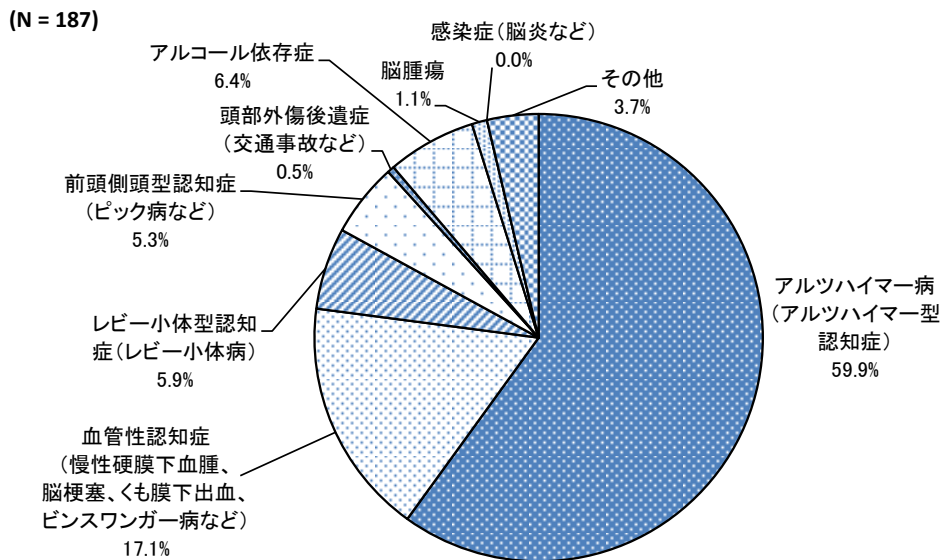


その他

- ・グループホーム入居中 (3件)
- ・施設入所 (3件)
- ・施設利用者 (2件)
- ・他入居者
- ・入所者
- ・叔母 (2件)
- ・内縁の夫
- ・姉夫婦
- ・姉
- ・妹
- ・ご兄弟とそこご家族
- ・兄
- ・嫁、孫
- ・長男嫁と孫 2人
- ・息子夫婦 2世帯
- ・子の配偶者

問 2 認知症の具体的な病名を教えてください。

「アルツハイマー病(アルツハイマー型認知症)」が 59.9%と最も高く、次いで「血管性認知症(慢性硬膜下血腫、脳梗塞、くも膜下出血、ピンスワンガー病など)」が 17.1%、「アルコール依存症」が 6.4%となっている。

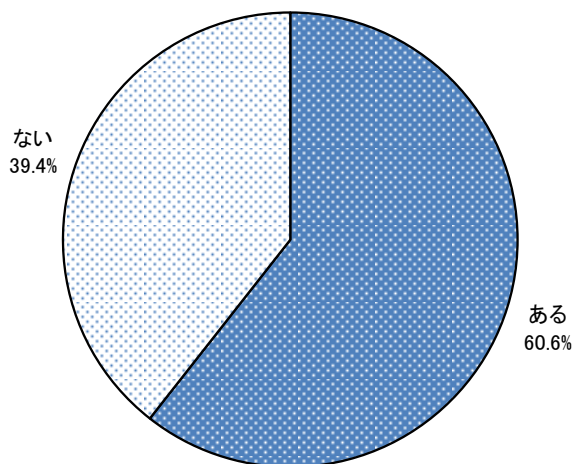


- その他**
- ・薬物依存症
 - ・ハンチントン病
 - ・白質ジストロフィー
 - ・皮質基底核変性症
 - ・認知症
 - ・混合型認知症
 - ・アルコール関連認知症

問3 認知症以外の病気はありますか。

「ある」は 60.6%、「ない」は 39.4%であった。

(N = 198)



具体的な病名

- ・ 高血圧症 (23 件)
- ・ うつ病 (20 件)
- ・ 糖尿病 (17 件)
- ・ 統合失調症 (9 件)
- ・ 脂質異常症 (6 件)
- ・ アルコール依存症 (5 件)
- ・ 2型糖尿病 (4 件)
- ・ 高次脳機能障害 (4 件)
- ・ 不眠症 (4 件)
- ・ 高脂血症 (4 件)
- ・ 腎不全 (3 件)
- ・ 脳梗塞 (3 件)
- ・ アルコール精神病 (2 件)
- ・ 高コレステロール (2 件)
- ・ 脂肪肝 (2 件)
- ・ 症候性てんかん (2 件)
- ・ 心不全 (2 件)
- ・ 水頭症 (2 件)
- ・ 双極性感情障害 (2 件)
- ・ 白内障 (2 件)
- ・ 乳がん術後 (2 件)
- ・ 脳梗塞後遺症 (2 件)

具体的な病名

- ・前立腺肥大症（2件）
- ・前立腺がん
- ・遅発性放射線障害
- ・片マヒ
- ・子宮筋腫
- ・腰椎ヘルニア術後
- ・気分障害
- ・頸部ジストニア
- ・肝炎
- ・摂食障害
- ・右上下肢マヒ
- ・脾嚢胞左卵巣嚢胞
- ・交通事故による頭部外傷（脳挫傷）で一部頭がい骨なし
- ・不安神経症
- ・ハンチントン病
- ・慢性腎不全
- ・器質性精神障害
- ・アルコール性肝炎
- ・右大腿骨頸部骨折術後
- ・陳旧性ラクナ梗塞
- ・多発性骨髄炎
- ・多極性感情障害
- ・アルコールによる残遺性および遅発性精神病性障害
- ・コルサコフ症候群
- ・躁うつ病
- ・冠動脈硬化症
- ・リウマチ
- ・正常圧水頭症術後
- ・四肢運動障害
- ・変形性膝関節症
- ・大腸がん
- ・多発性骨髄腫
- ・痛風
- ・てんかん
- ・精神発達障害
- ・緑内障（右目失明、左眼眼振、尿閉）
- ・知的障害
- ・多極性障害
- ・副腎の腫瘍

具体的な病名

- ・喉頭癌（ステージⅡ）
- ・肺癌
- ・慢性胃炎
- ・頭部外傷後くも膜下出血
- ・妄想性障害
- ・神経症
- ・脂質異常症尿酸値異常
- ・虫垂炎
- ・胆管炎
- ・左大腿骨頸部骨折後に糖尿病
- ・動悸息切れ
- ・食道裂子ヘルニア
- ・閉塞性動脈硬化症
- ・構音障害
- ・左大腿部ヘルニア
- ・神経因性膀胱
- ・神経固性膀胱
- ・精神病
- ・肝硬変
- ・左眼眼振
- ・筋緊張性ジストロフィー
- ・小脳梗塞後遺症
- ・パーキンソン病
- ・軽躁病
- ・統合失調感情障害
- ・腎機能低下
- ・精神運動発作
- ・胆嚢摘出術後
- ・骨粗しょう症
- ・緑内障
- ・自立神経失調症
- ・胃潰瘍
- ・糖尿病性緑内障
- ・狭心症
- ・足白癬
- ・けいれん発作
- ・低カリウム血症性周期性四肢麻痺
- ・不整脈
- ・イレウス

具体的な病名

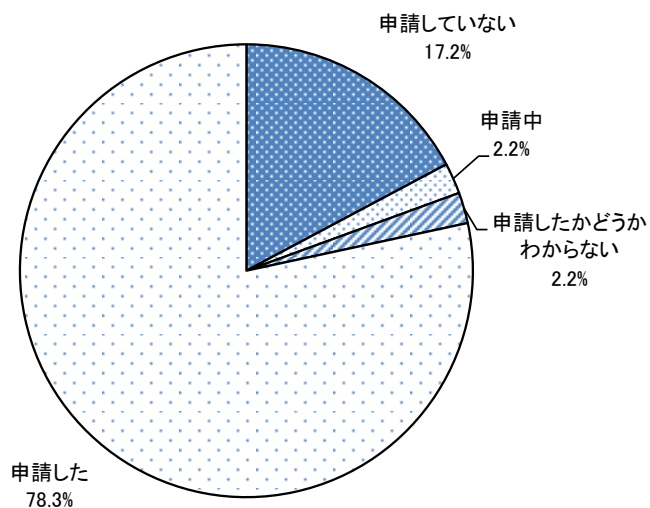
- ・左脳出血
- ・パーキンソニズム
- ・小脳梗塞
- ・左半身不全麻痺
- ・心室頻拍
- ・低カリウム血症
- ・外反母趾
- ・左被殻梗塞
- ・慣性膀胱炎
- ・せん妄
- ・心房細動
- ・性同一性障害

(3)－2 介護保険の申請や利用状況について

問 6 ご本人は介護保険の申請をしていますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

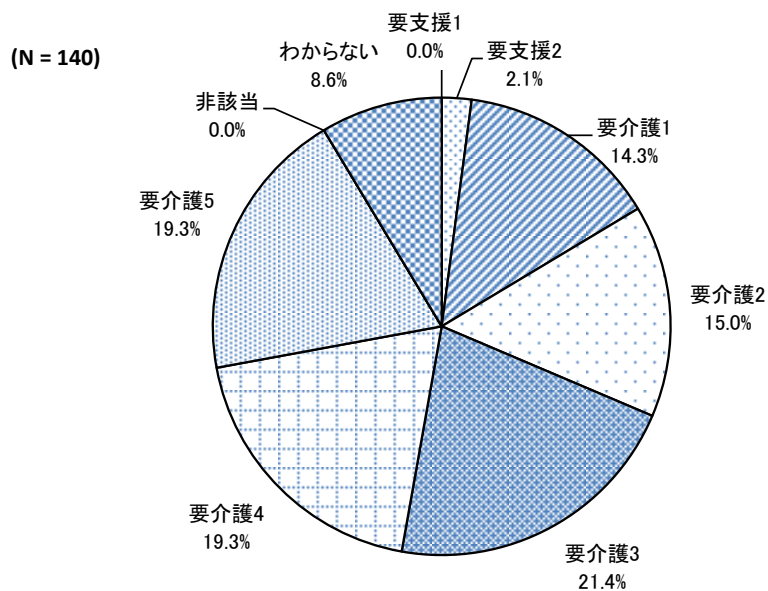
「申請した」が78.3%と最も高く、次いで「申請していない」が17.2%、「申請中」及び「申請したかどうか分からない」が2.2%となっている。

(N = 180)



問 7 問 6 で「4.申請した」と回答された場合、ご本人の要介護度は何ですか。
あてはまる番号1つに○を付けてください。

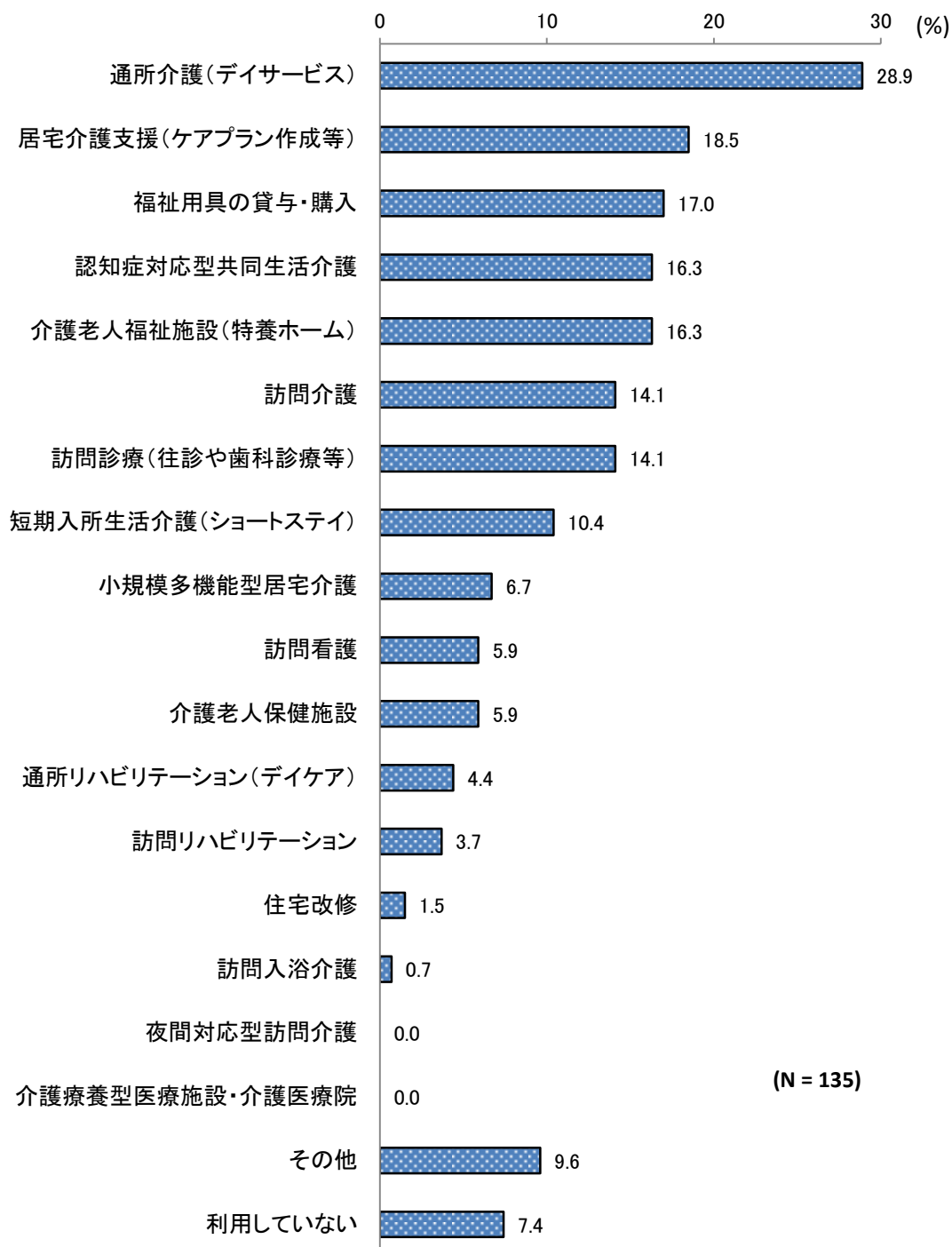
「要介護 3」が 21.4%と最も高く、次いで「要介護 4」及び「要介護 5」が 19.3%となっている。



問 8 問 6 で「4.申請した」と回答された場合、現在利用しているサービスは何ですか。

あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「通所介護(デイサービス)」が 28.9%と最も高く、次いで「居宅介護支援(ケアプラン作成等)」が 18.5%、「福祉用具の貸与・購入」が 17.0%となっている。



その他

- ・有料老人ホーム（2件）
- ・精神科病院に入院中
- ・入院中（長期）
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護
- ・定期巡回。毎日訪問し、身体介護、服薬、体調管理、部屋の清掃保持のための声かけ。
- ・転医したため不明
- ・認知症対応型通所介護
- ・保険サービス（訪問、送り出し）、お泊まり（通所）
- ・ケアラーズカフェ
- ・現在の区分、利用サービス不明。以前はケアマネ依頼を当院にて行った。
- ・ヘルパー
- ・グループホーム入所中

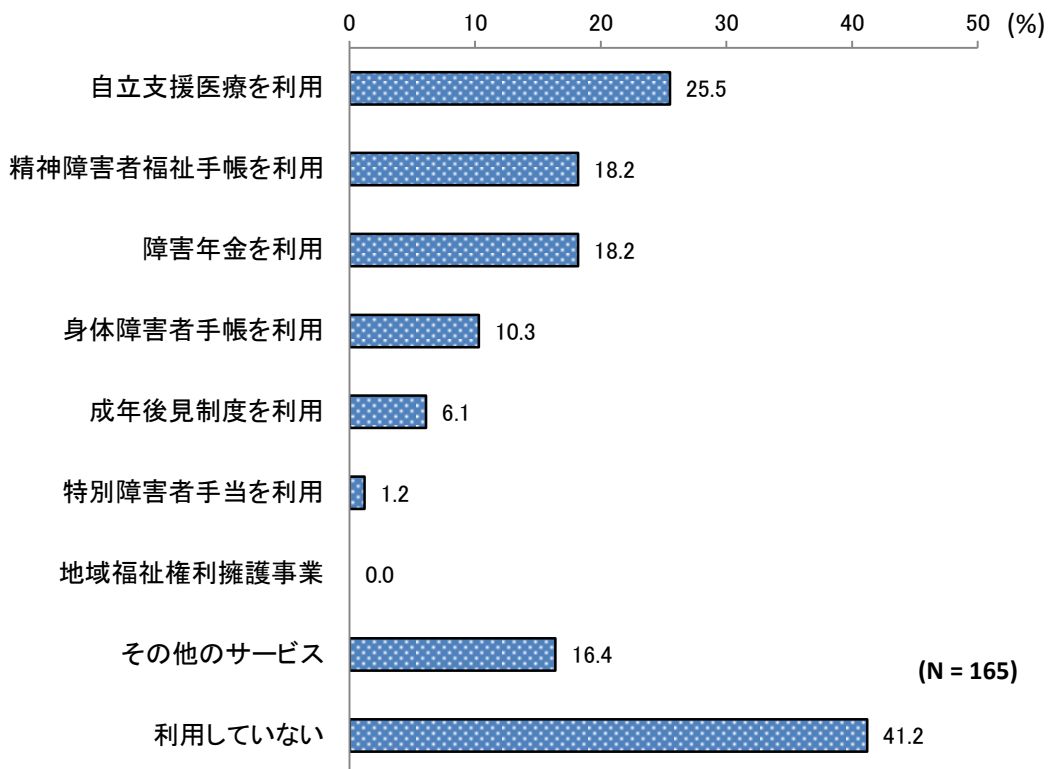
利用していない理由

- ・入院中の為（2件）
- ・入院中。今後特養ショートステイを利用予定。
- ・病院にて入院加療中のため
- ・本人の受入れが不十分なため
- ・以前はヘルパー利用していたが、本人が不要といい利用せず
- ・本人の拒否
- ・サービス付き高齢者向け住宅に入所
- ・病態が利用の適応にならない

(3)－3 現在利用している公的なサービスの利用状況について

問9 下記のサービスや支援について、あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「利用していない」が41.2%と最も高く、次いで「自立支援医療を利用」が25.5%、「精神障害者福祉手帳を利用」及び「障害年金を利用」が18.2%となっている。



その他のサービス

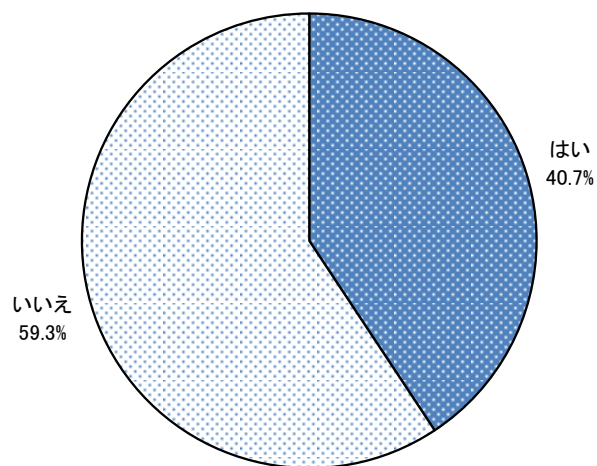
- ・生活保護（11件）
- ・心身障害者（児）医療費助成受給券（6件）
- ・指定難病医療費助成制度（2件）
- ・現在医療機関に入院中
- ・現在は施設入所され転院しているため、他にも利用しているかもしれませんが分かりません
- ・介護保険負担限度額認定証
- ・傷病手当金
- ・療育手帳
- ・特別養護老人ホーム入所中
- ・就労継続支援A型
- ・休職手当
- ・疾病手当金
- ・重度医療による減免
- ・地域活動支援センター

(3)－4 発症時の仕事の状況について

問 10 発症時、仕事に就いていましたか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

「はい」は 40.7%、「いいえ」は 59.3%であった。

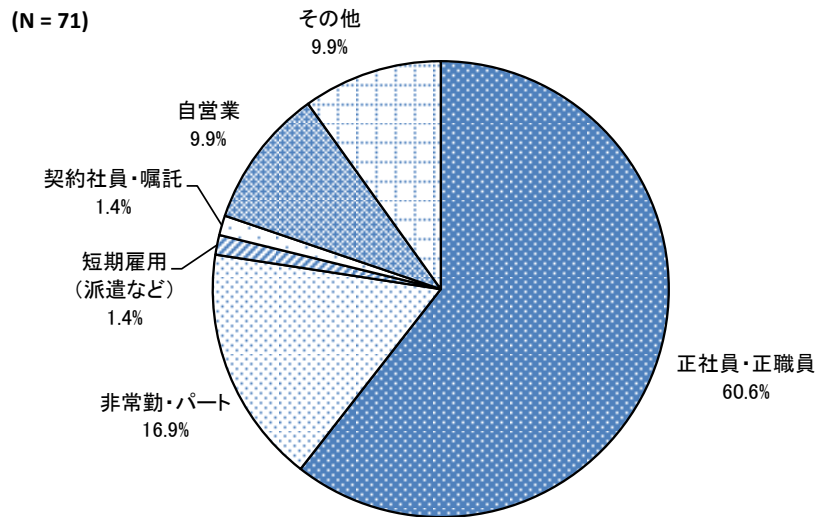
(N = 177)



問 11 問 10 で「1. はい」と回答された場合、勤務形態は何でしたか。あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

▷具体的な仕事内容についてもご記入ください。

「正社員・正職員」が 60.6%と最も高く、次いで「非常勤・パート」が 16.9%、「自営業」及び「その他」が 9.9%となっている。



その他

- ・自由業

具体的な仕事内容

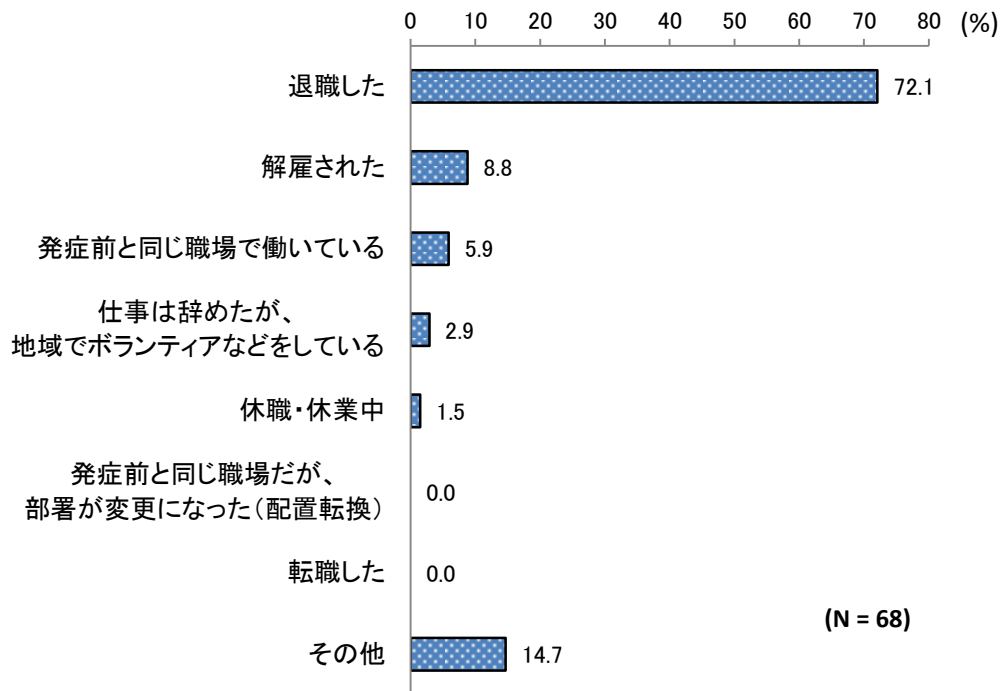
- | | |
|-----------------|-----------|
| ・建設業 (3 件) | ・教員 (高校) |
| ・建築関係 | ・教師 |
| ・内装・建具関係 | ・飲食業 |
| ・重機の操作、工事現場 | ・農業 |
| ・塗装業 | ・農業法人 |
| ・事務職 (3 件) | ・警備会社 |
| ・看護師 (2 件) | ・都庁 |
| ・看護助手 | ・食品関係 |
| ・鉄道会社職員 (2 件) | ・理容店 |
| ・タクシー運転手 (2 件) | ・販売員など |
| ・ハイヤー運転手 | ・洋服の販売員 |
| ・芝の管理 | ・絵本のデザイナー |
| ・清掃員 | ・会社員 |
| ・病院の清掃員 | ・出版 |
| ・東部内管保安センター維持管理 | ・防水工 |
| ・不動産業 | ・水道工事 |
| ・警察 | ・受付 |

具体的な仕事内容

- ・造園業
- ・ミュージシャン
- ・薬剤師
- ・大型トラック運転手
- ・トラックの運転
- ・鉄クズをリサイクルする工場
- ・銀行員
- ・介護職
- ・介護士
- ・リフォーム会社の営業
- ・卵パック詰めのパート
- ・ソムリエ
- ・住宅管理
- ・TV局の管理職
- ・病院の臨床検査技師
- ・調理員
- ・IT関係
- ・チョコレート工場
- ・工場
- ・製造業
- ・大学職員

問 12 問 10 で「1. はい」と回答された場合、現在の仕事の状況 について、あてはまるすべての番号及びその時期についてかっこ内の選択肢に○を付けてください。〈複数回答〉

「退職した」が 72.1%と最も高く、次いで「その他」が 14.7%、「解雇された」が 8.8%となっている。

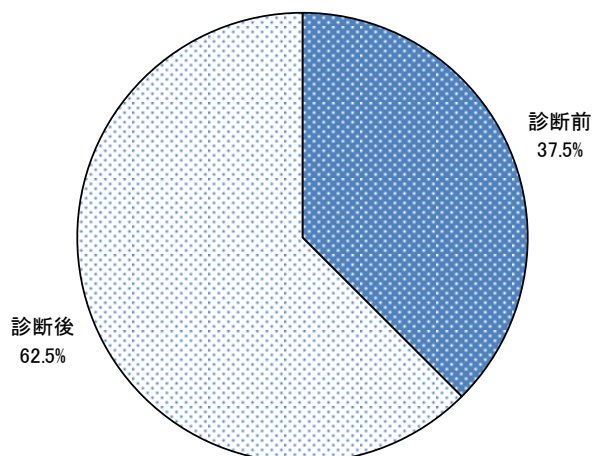


「退職した」と回答した人の時期は「診断前」が 37.5%、「診断後」が 62.5%であった。

「解雇された」と回答した人の時期は「診断前」が 16.7%、「診断後」が 83.3%であった。

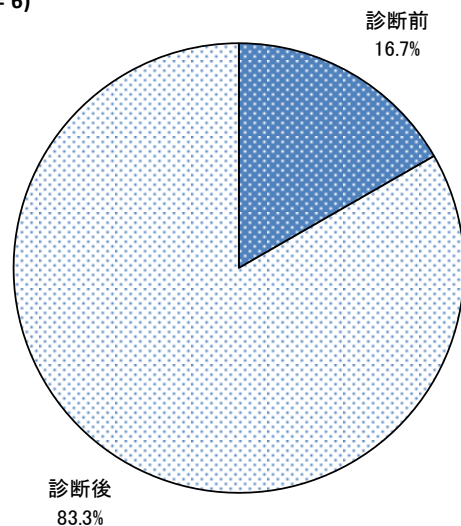
【退職した時期】

(N = 40)



【解雇された時期】

(N = 6)



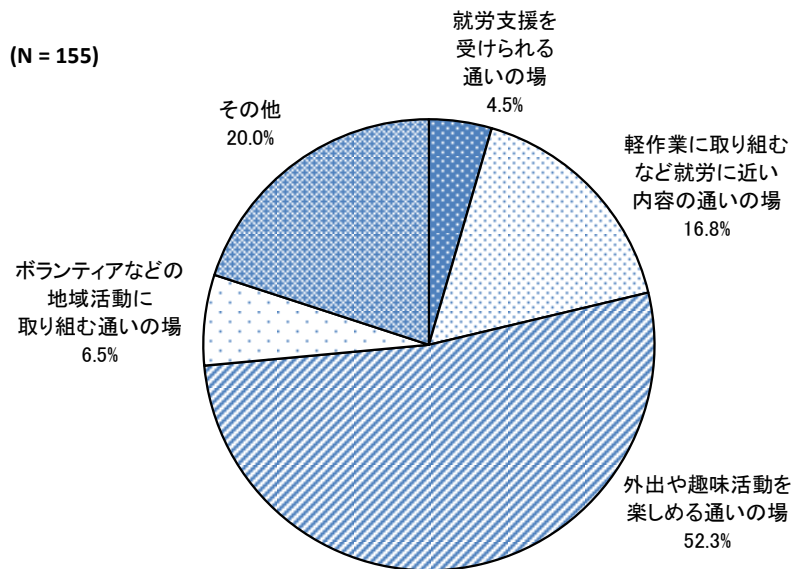
その他

- ・定年退職（2件）
- ・通院途絶え不詳
- ・元の職場で、資材置場の片付けなどの手伝いや、気分転換にと他県出張（現場）に連れていってくれる（お金は発生していない）
- ・閉業
- ・どのような形で退職したのかは不明だが、診断がつく前に無職になっている
- ・全くできなくなっている
- ・現在はA型就労中

問 13 ご本人の通いの場として、どのような場が必要と考えますか。

最もあてはまると思う番号 1 つに○を付けてください。(主に若年層が通う場所を想定します)

「外出や趣味活動を楽しめる通いの場」が 52.3%と最も高く、次いで「その他」が 20.0%、「軽作業に取り組むなど就労に近い内容の通いの場」が 16.8%となっている。



その他

- ・施設入所 (7 件)
- ・通いのサービスは困難 (3 件)
- ・可能な限り、同じ環境で生活して行けるよう理解を得られれば良いと思います
- ・介護保険、生活保護、施設入所などを含め、あんしんケアセンターに相談するようご家族にすすめた
- ・徘徊行動がある為施設利用
- ・生活の場
- ・年齢と立場によっても違う。進行を考えると一つの場所に限定できない。
- ・当院より他院へ転院しているため詳細不詳
- ・現状要介護 5、介護施設が望ましい
- ・安全に入浴、食事等の介護が受けられる場
- ・進行しており発語意思疎通も難しく脳梗塞も発症。車イスとなり介護サービスが望ましい。
- ・生活全般のサポートをしてもらいながら交流のできる場、施設を検討中。
- ・生活全般を介護してもらいながら交流もできる場 (施設)
- ・その人によって異なるのでケースバイケースで考えた方が良いと思います
- ・現在は通えるレベルになし
- ・その方により必要の場は変わってくるのではないかと思います

その他

- ・現在は認知症状進行してデイサービスに慣れており現状維持
- ・レクなどのある、BPSD（認知症の周辺症状）の方に対応できる施設
- ・元々、活動的な人で自ら通いの場を探し、ご自身なりに活用している
- ・介護保険サービス
- ・認知症ケアのうけられる環境が必要。施設が適切と思われる。

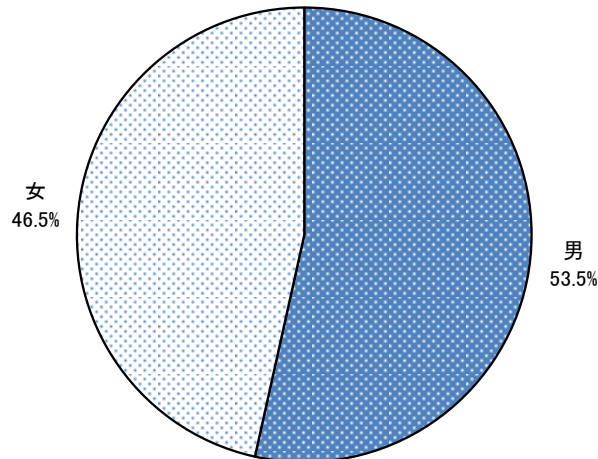
【二次調査の補足資料】

本人・家族調査（調査票 C）及び関係施設（担当者）調査（調査票 D）で共通の設問について、合算して集計を行った。

1. 若年性認知症または若年発症の認知症の方の性別について

性別は「男」が 53.5%、「女」が 46.5%であった。

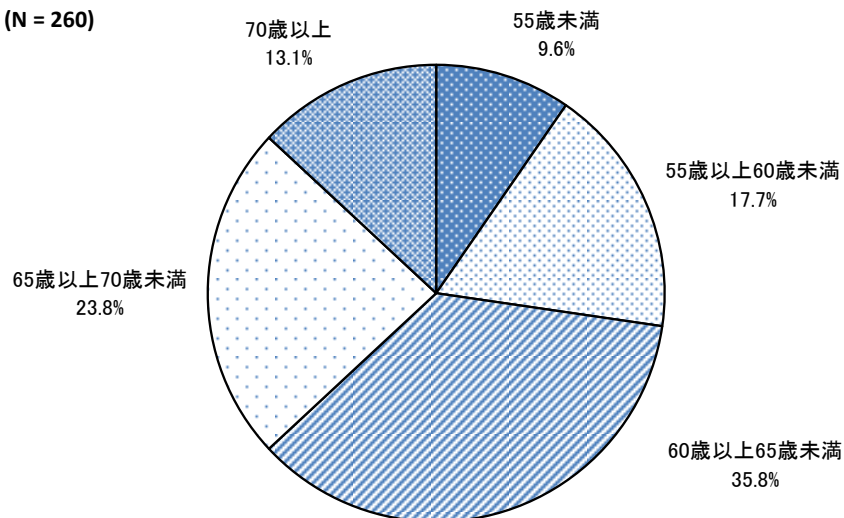
(N = 258)



2. 若年性認知症または若年発症の認知症の方の現在の年齢について

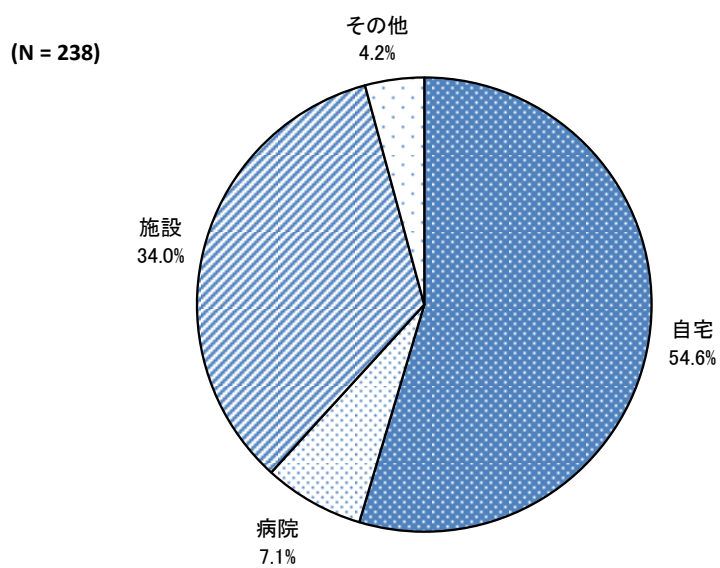
現在の年齢は「60歳以上 65歳未満」が 35.8%と最も高く、次いで「65歳以上 70歳未満」が 23.8%、「55歳以上 60歳未満」が 17.7%となっている。

(N = 260)



3. 若年性認知症または若年発症の認知症の方の現在の住まいについて

「自宅」が 54.6%と最も高く、次いで「施設」が 34.0%、「病院」が 7.1%となっている。

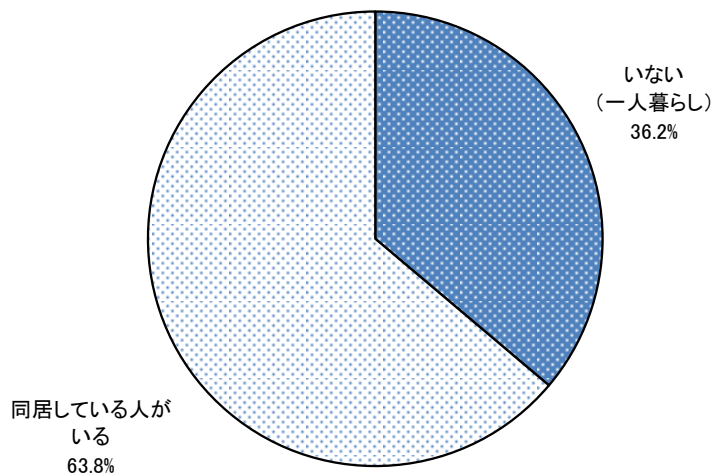


4. 同居している人について

(1)同居している人の有無について

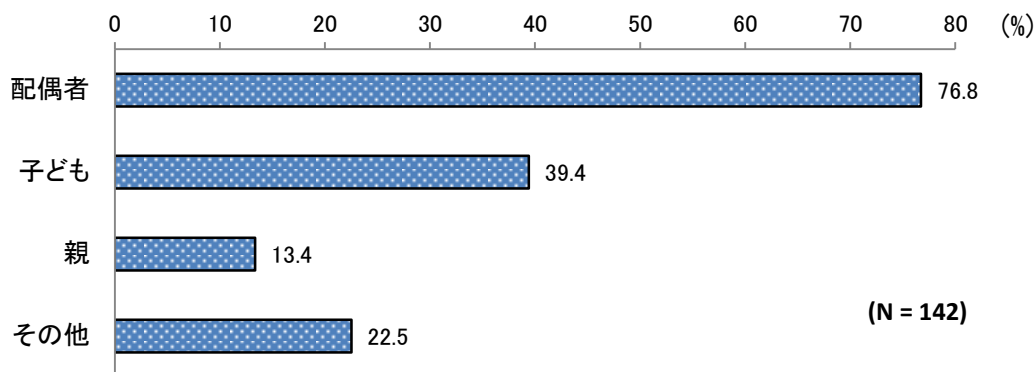
「いない(一人暮らし)」は 36.2%、「同居している人がある」は 63.8%であった。

(N = 224)



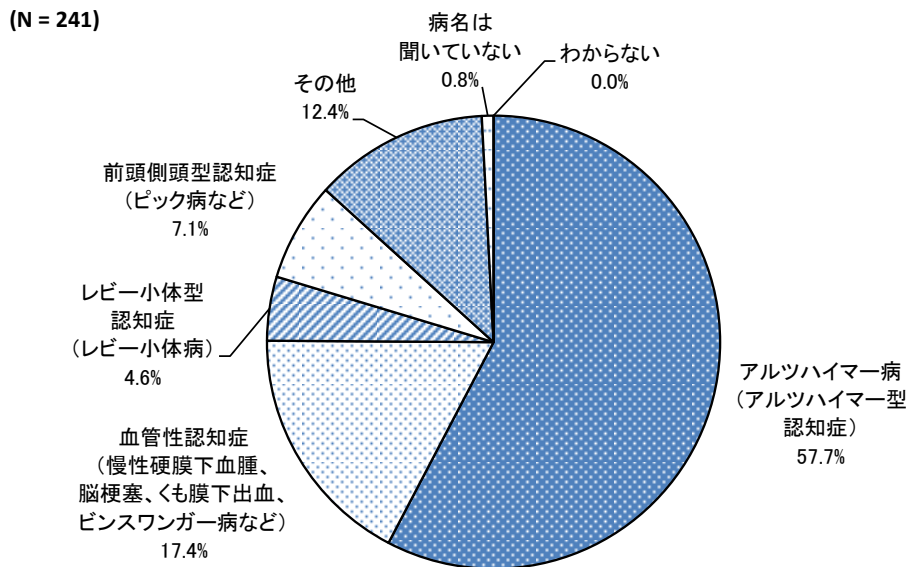
(2)同居している人

同居している人は「配偶者」が 76.8%と最も高く、次いで「子ども」が 39.4%、「その他」が 22.5%となっている。



5. 認知症の具体的な病名

「アルツハイマー病(アルツハイマー型認知症)」が 57.7%と最も高く、次いで「血管性認知症(慢性硬膜下血腫、脳梗塞、くも膜下出血、ピンスワンガー病など)」が 17.4%、「その他」が 12.4%となっている。

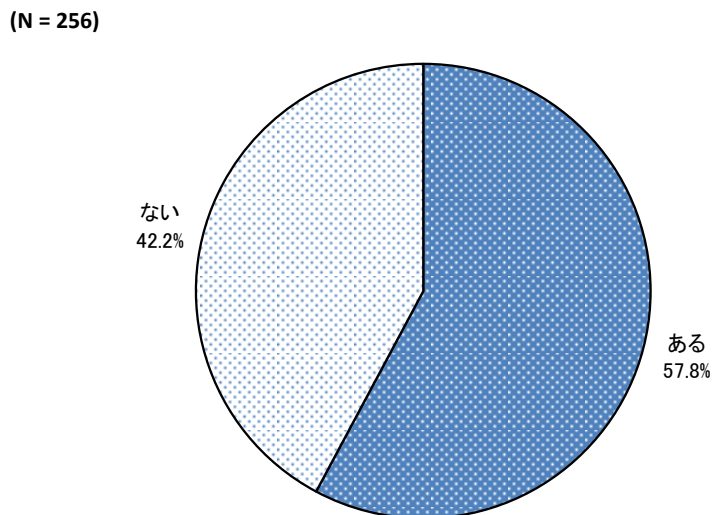


※本人・家族調査(調査票 C)の「頭部外傷後遺症(交通事故など)」「アルコール依存症」「脳腫瘍」「感染症(脳炎など)」の回答は「その他」に含めて集計している。

※「病名は聞いていない」「わからない」は関係施設(担当者)調査(調査票 D)のみの選択肢である。

6. 認知症以外の病気の有無について

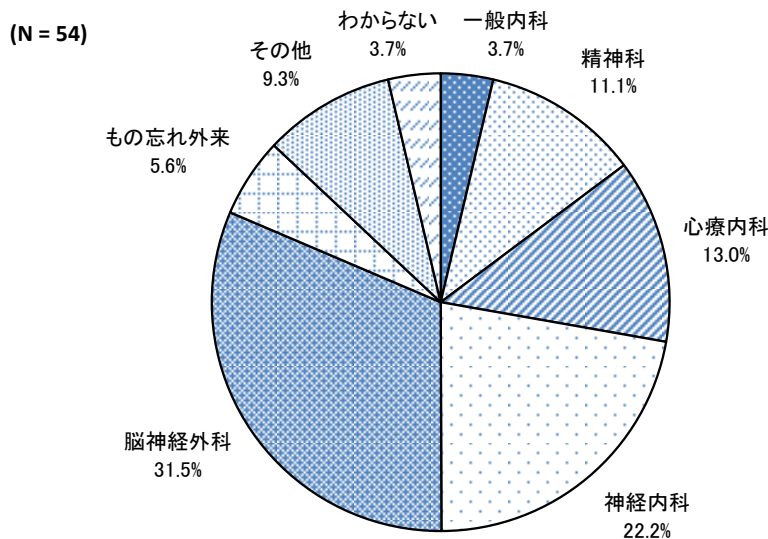
「ある」は 57.8%、「ない」は 42.2%であった。



7. 最初に受診した医療機関の診療科や外来

※本人・家族調査(調査票 C)のみ

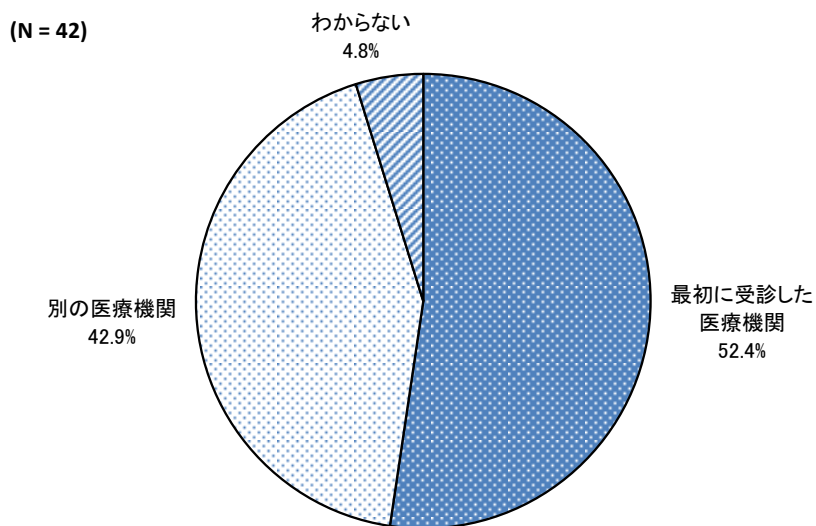
「脳神経外科」が 31.5%と最も高く、次いで「神経内科」が 22.2%、「心療内科」が 13.0%となっている。



8. 最終的に「認知症」と判断された医療機関

※本人・家族調査(調査票 C)のみ

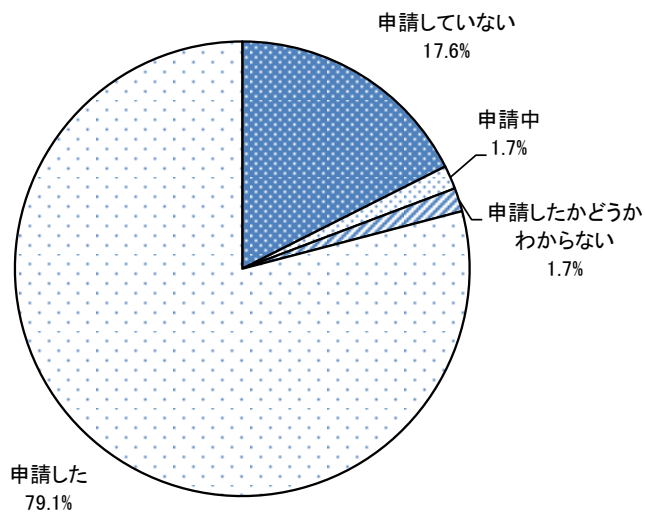
「最初に受診した医療機関」が 52.4%と最も高く、次いで「別の医療機関」が 42.9%、「わからない」が 4.8%となっている。



9. 介護保険の申請について

「申請した」が79.1%と最も高く、次いで「申請していない」が17.6%、「申請中」及び「申請したかどうか分からない」が1.7%となっている。

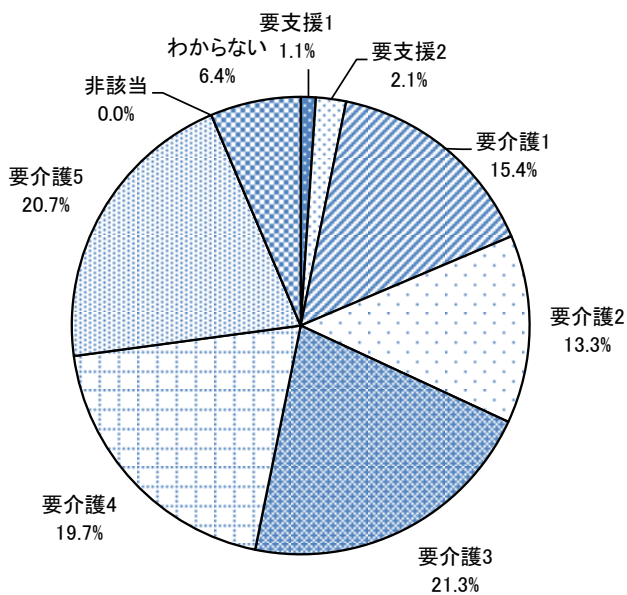
(N = 239)



10. 要介護度について

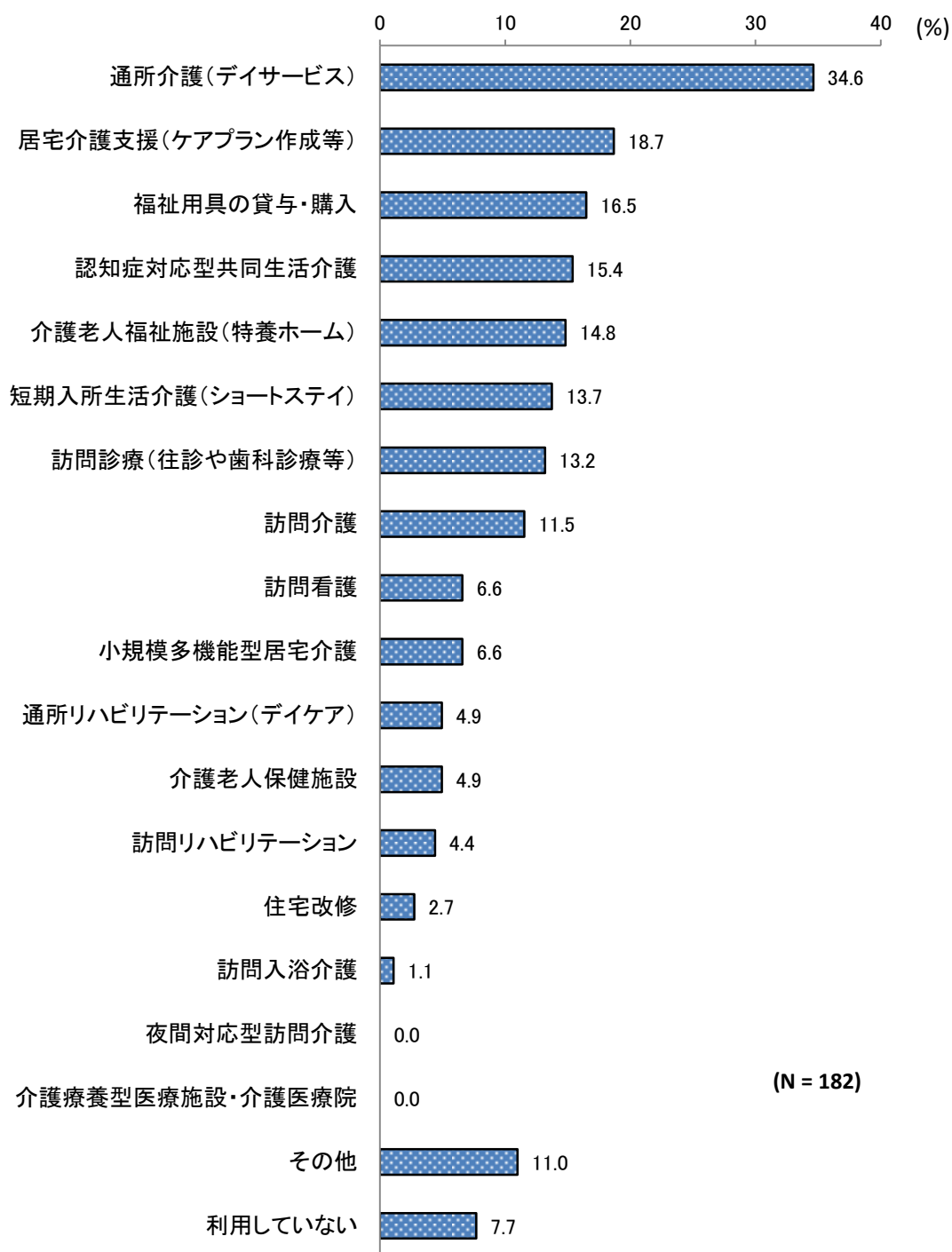
「要介護3」が21.3%と最も高く、次いで「要介護5」が20.7%、「要介護4」が19.7%となっている。

(N = 188)



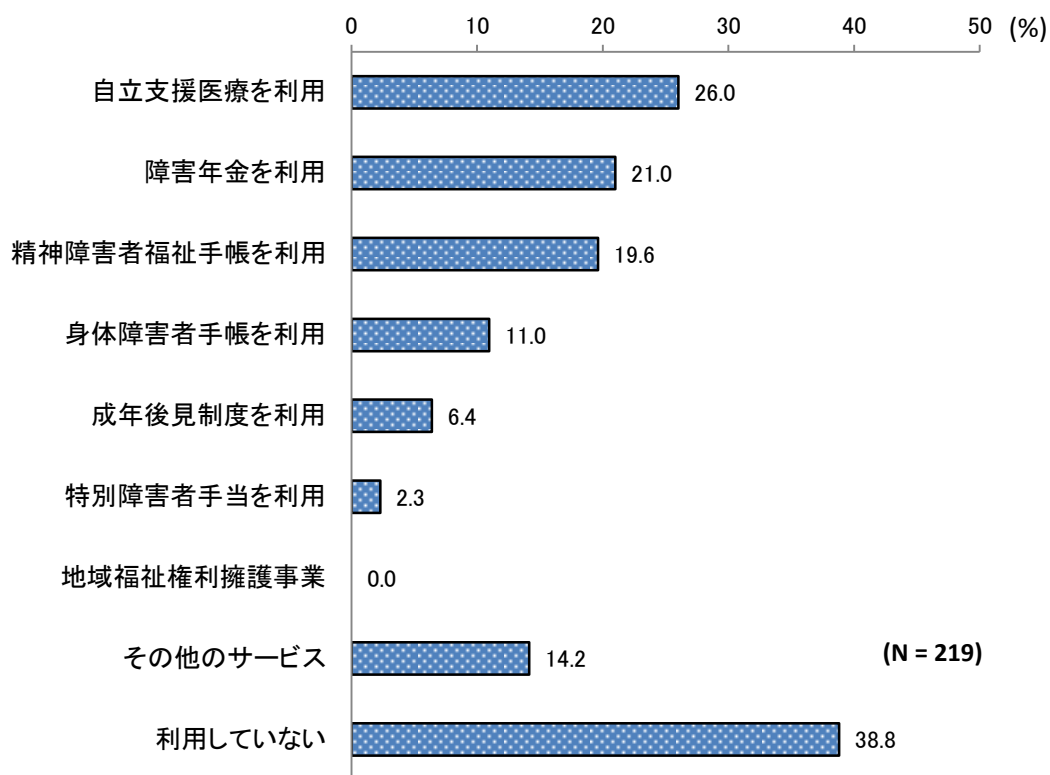
11. 若年性認知症または若年発症の認知症の方が現在利用しているサービスについて

「通所介護(デイサービス)」が 34.6%と最も高く、次いで「居宅介護支援(ケアプラン作成等)」が 18.7%、「福祉用具の貸与・購入」が 16.5%となっている。



12. 若年性認知症または若年発症の認知症の方が現在利用している公的なサービスについて

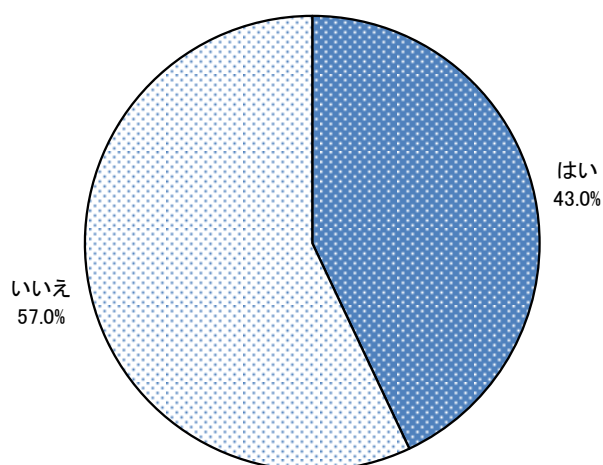
「利用していない」が 38.8%と最も高く、次いで「自立支援医療を利用」が 26.0%、「障害年金を利用」が 21.0%となっている。



13. 発症時に仕事に就いていたかについて

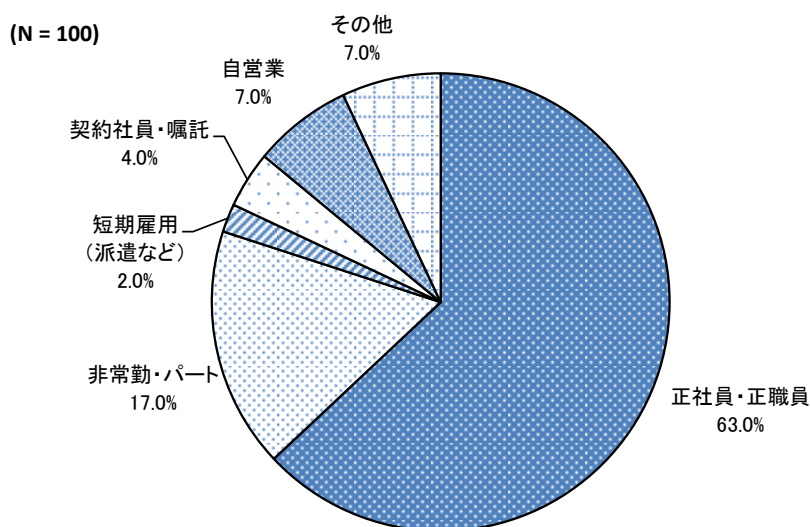
「はい」は 43.0%、「いいえ」は 57.0%であった。

(N = 235)



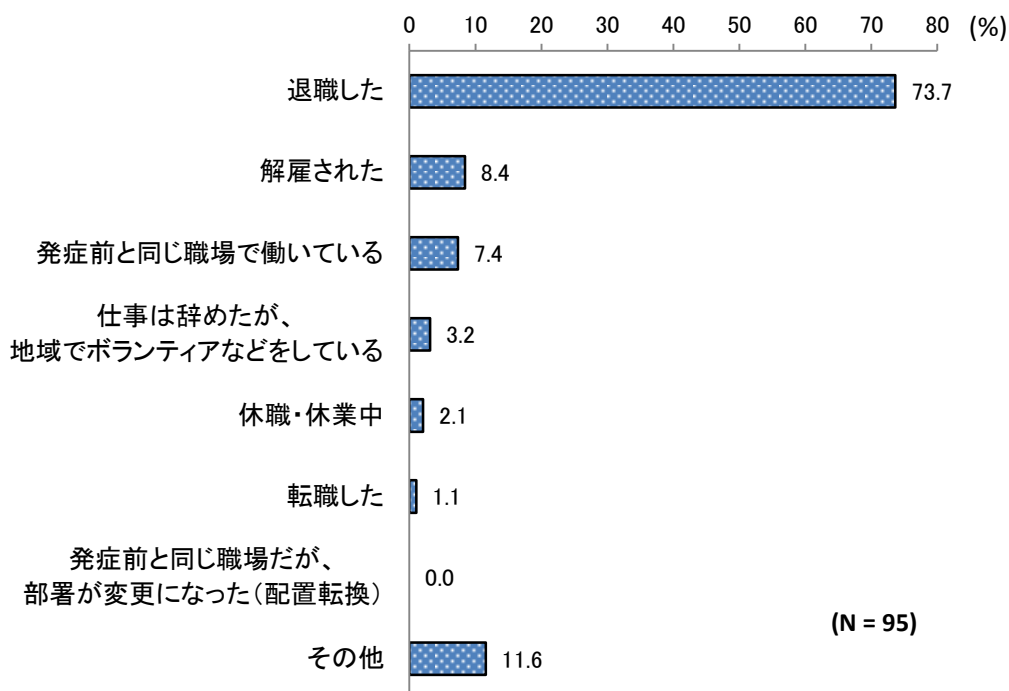
14. 発症時の勤務形態

「正社員・正職員」が63.0%と最も高く、次いで「非常勤・パート」が17.0%、「自営業」及び「その他」が7.0%となっている。



15. 現在の仕事の状況について

「退職した」が73.7%と最も高く、次いで「その他」が11.6%、「解雇された」が8.4%となっている。



16. 若年性認知症または若年発症の認知症の方に必要な通いの場

「外出や趣味活動を楽しめる通いの場」が50.2%と最も高く、次いで「その他」が18.2%、「軽作業に取り組むなど就労に近い内容の通いの場」が17.2%となっている。

